



京都市子ども若者はぐくみ局
 はぐくみ創造推進室
 TEL 251-0457

令和3年度 京都はぐくみ憲章実践推進者表彰並びに 活動紹介リーフレットの発行について

～「大賞」3団体、「はぐくみアクション賞」23団体・個人が受賞！～

京都市では、子どもたちの今と未来のため、大人としてどう行動すべきかを示した「京都はぐくみ憲章（子どもを共に育む京都市民憲章）」の理念のもと、子どもを笑顔で温かく見守り、地域や社会の宝として大切に育む「はぐくみ文化」が息づくまちづくりを進めています。

この度、「子どもを共に育む京都市民憲章推進協議会」による選考に基づき、憲章の実践活動に関して他のモデルになる活動や特色ある活動に取り組まれている団体・個人として、令和3年度「京都はぐくみ憲章」実践推進者表彰の被表彰者が決定しましたので、お知らせいたします。

また、令和3年度「京都はぐくみ憲章」実践推進者表彰を受賞された皆様の素晴らしい実践活動を紹介するリーフレットを作成しました。

リーフレットを通じて地域に根差した「はぐくみ活動」を知っていただくとともに、子育て支援を地域で温かく理解し、支え合い、子ども・若者が夢や希望を持って成長できる「はぐくみ文化」の息づくまちづくりを目指し、はぐくみ活動の参考として御活用ください。

記

1 被表彰者（50音順、詳細は別添資料を参照）

(1) 大賞（3件）

- 特定非営利活動法人 キンダーフィルムフェスト・きょうと
- フリースクール ほっとハウス
- 都タクシー株式会社

(2) はぐくみアクション賞（23件）

2 表彰式

今年度より京都市自治記念式典内において表彰を行う予定をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、感染拡大防止の観点から、令和3年度においては、式典の開催が中止となっております。

（詳細は、9月2日付け広報資料「令和3年度 京都市自治記念式典の中止について」のとおり）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000288874.html>



<参考1>

京都はぐくみ憲章 (子どもを共に育む京都市民憲章)

わたくしたちのまち京都には、子どもを社会の宝として、愛し、慈しみ、将来を託してきた、人づくりの伝統があります。そうした伝統を受け継ぎ、人と自然が調和し、命のつながりを大切にして、子どもを健やかで心豊かに育む社会を築くことは、京都市民の使命です。

大人は、子どもの可能性を信じ、自ら育つ力を大切にして、子どもを見守り、褒め、時には叱り、共に成長していくことが求められます。そして、子どもを取り巻く状況を常に見つめ、命と健やかな育ちを脅かすものに対して、毅然とした態度で臨む必要があります。

わたくしたちは、子どもたちの今と未来のため、家庭、地域、学校、企業、行政など社会のあらゆる場で、人と人の絆を結び、共に生きるうえでの行動規範として市民憲章を定めます。

わたくしたちは、

- 一 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 一 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 一 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 一 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- 一 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 一 子どもを育む自然の恵みを大切にし、社会の環境づくりを優先します。

(平成19年2月5日制定、3月13日憲章推進の市会決議)

<参考2> 令和3年度のテーマ及び行動指針

本憲章を実践する行動の輪が一層広がるよう、「子どもを共に育む京都市民憲章の実践の推進に関する条例」に基づき、令和3年度の「テーマ」と「行動指針」を定めました。

○テーマ

「Let'sはぐくみアクション! ~守ろう! こどものえがお, みんなの笑顔~」

○行動指針

【緊急の方策に関する行動】

- * 新型コロナウイルスから子どもの健やかな育ちを守ります。
- * 児童虐待から子どもの命を守ります。
- * いじめから子どもの命を守ります。
- * 児童ポルノの根絶に向けた対策に取り組み、子どもの人権を守ります。
- * 大麻や危険ドラッグ等の薬物乱用から子どもの命を守ります。
- * HIV・性感染症を子どもが正しく理解して予防できるよう取り組みます。
- * インターネット通信端末機器の利用の危険性・依存性から子どもを守ります。

【基本的な方策に関する行動】

- * 体験活動の機会を増やします。また、子どもの危険を未然に防ぎます。
- * 社会のルールやモラル、マナーを守り、子どもの模範となるよう努めます。
- * 地域や企業・行政などの取組を活用しながら親も学ぶと同時に、子どもからも学びます。
- * 規則正しい生活を行い、家族一緒に過ごす時間を大切にします。
- * 互いの挨拶・声かけを行うとともに、課題を抱える子どもと家庭を支援します。
- * 「SDGs」の理念の下、エコライフや真のワーク・ライフ・バランスを進めます。